

# 水害から地域を守る。

## 田川水門(仮称)の役割

平成27年9月の関東・東北豪雨での、田川・鬼怒川合流部(久保田地内・写真中央部)

平成27年9月の関東・東北豪雨では、常総市で鬼怒川の堤防が決壊し甚大な被害をもたらしました。また、令和元年10月の東日本台風が来襲した際は、市内で32棟の建物被害が発生し、ボートによる人命救助が行われるなど大きな爪痕を残しました。

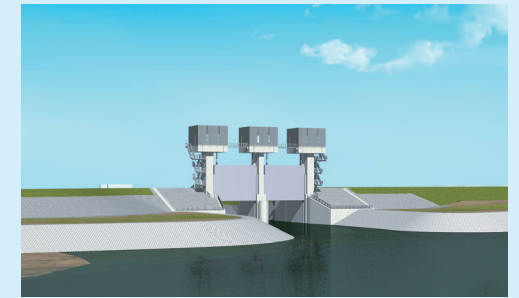
鬼怒川が増水すると、田川に向かって水が逆流し

いっすい  
て溢水し、住宅や田畑などに流れ込みます。地域の浸水被害を軽減するため、国(国土交通省関東地方整備局下館河川事務所)の事業として田川と鬼怒川の合流地点に水門を設置することとなりました。令和3年9月に着工、令和7年3月に完成予定で事業を進めています。



鬼怒川を管理する国土交通省関東地方整備局下館河川事務所の方に、田川水門(仮称)について聞きました。

下館河川事務所工務課  
課長 秋元 裕さん



田川水門(仮称)の完成予想CG

鬼怒川支川田川の沿川では、過去に浸水被害が何度も発生しており、平成27年9月関東・東北豪雨では213戸もの家屋が床上・床下浸水被害に遭いました。この為、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所では、令和3年度より、鬼怒川から田川への逆流防止を目的に、水門整備工事に着手しています。

工事では、水門整備にあわせて約600mの堤防整備も行い、沿川の治水安全度の向上を図ります。

令和7年3月の完成を目標に進めております

ので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、ソフト対策では、逃げ遅れゼロを目指して「マイ・タイムライン」の普及に力を入れています。「マイ・タイムライン」は、大雨で川が増水する前に、「どこへ、何を持って逃げるか」を一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した行動計画です。余裕を持って安全に避難するために、「マイ・タイムライン」を作って「いざ」というときに備えておきましょう。



マイ・タイムライン



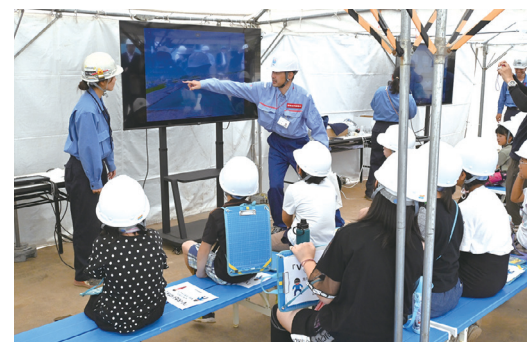
Twitter



Facebook

### 水門の建設現場を見学してきました

7月5日、絹川小の4年生が建設中の水門を見学したので、感想を聞きました。



完成後の水門のようすを映像で体験する児童

大熊 隆之介さん

水門見学で印象に残っているものは、コンクリート体験と、ARで水門の完成の様子を見たことです。コンクリートは、水、砂利、砂、セメントを使って作っていることを教えていただき、とても印象に残りました。水門の完成が楽しみです。

長瀬 宏翔さん

水門見学では、VRで完成図を見せていただいたことが思い出に残っています。完成した時の様子を具体的に想像することができました。暑い日も寒い日も水門づくりをしている作業員の方は、すごいと思いました。

渡邊 菜さん

水門見学の時に、タブレットを使ってARで完成した時の様子を見させていただきました。完成した時の様子は、想像していたよりも大きく、とても迫力がありました。多くの人によって作られていると知って、驚きました。



コンクリートづくりを体験する児童



工事現場で水門の説明を受けました

問 市秘書課 ☎34-0401